ＪＲ東労組新潟
ＯＢ会ニュース
東日本旅客鉄道労働組合新潟地方本部ＯＢ会
〒　950－0086　新潟市花園１－１－５
発行責任者　山　崎　次　男

コロナ禍　各支部定期総会　レク・サークル開催！

第２０回新潟支部総会

１０月１２日１５時から新潟駅前・クオリス３階において、感染対策を行ったうえで開催しました。

総会は、議長に須藤氏（新潟車両センター）を選出し進められ、最初に挨拶に立った支部田中会長は、

第１に、安倍政権はもっと悪い。学術会議問題は安保法制に反対する者を排除するのが目的だ。第２に、総選挙では、立憲民主党を基軸に野党統一候補の当選に向けて取組みたい。

第３に、「核兵器禁止条約」発効に必要な５０ヵ国が迫っている。（１０月２５日に達成）核のない世界を実現しよう　等の挨拶を行いました。

続いて、地本ＯＢ会沖田副会長（地本総会の報告など）、新潟市退職者連合土沼事務局長の挨拶と、黒岩、菊田の両衆議院議員よりのメッセージが披露されました。

その後、役員側の提起、質疑を経て方針が満場一致決定されました。

主な質疑

※　家庭の事情で新潟に来てＯＢ会に加入、９条連活動などを楽しくやっている。

※　検察庁法一部改正反対で「新発田市民の会」を立ち上げ、地域活動を行っている。

※　清田正治さんが突然の病気でしくなった。生涯労働者として頑張ってこられた。ＯＢ会に入ってて良かったと思える組織にしていこう。

※　あと何年ＯＢ会活動が出来るのか、また何をすればよいのか不安だがやるしかない。

※　総選挙では支部が応援する候補が輻輳する。意思統一をしてほしい。

西村・打越両議員が決意述べる！

総会終了後、西村衆議院議員、打越参議院議員が駆け付け、それぞれ挨拶と決意が述べられました。

両氏からは、次の総選挙は日本の別れ道となる重要な選挙だ、安倍首相は「桜を見る会」などで政権が持たないとして投げ出し、菅政権が誕生したが、反対者の排除や真面目に答えないなど強権体質が顕著だ。野党統一候補の当選に向けて頑張る決意が明らかにされました、また両氏は懇親会にも参加しました。

決意を述べる両議員

新役員体制（敬称略）

会　長　田中　富士男（新潟車セ）
副会長　長谷川　強嗣（新潟ユク）
〃　庄司　勉（駅・工務）
事務長　澤口　薫（幹線車セ）

第５回下越地区囲碁大会！

７月の地本囲碁大会が中止となりましたが「囲碁好き」会員の要望を受け、関係者の協議を行い、１１月１３日、秋葉区ベルシティ内の「天元」おいて開催にこぎつけました。

１３名の会員によってコロナ禍を吹き飛ばすような熱戦が展開され、再会とお互いの健康を喜び合い、サークル活動の発展を確認してきました。

全体の懇親会は自粛しましたが、有志による「集い」で更に旧交を温め合いました。

Ａクラス　（敬称略）
１位　岡部　久紀（ニイユク）
２位　清水　孝（ニイユク）
３位　庄司幸次郎（地本）

Ｂクラス
１位　新保　敏雄（ニイユク）
２位　斎藤　建男（駅連合）
３位　田中富士男（ニイ車セ）

直江津支部　囲碁大会開催！

１１月１２日、９名が参加しました。日頃から碁会所に通っている会員や、何十年ぶりに碁石を持った会員など様々で、最初は碁石の音が聞こえる程静かに始まりました。

対局が進むにつれ、あちこちで悲痛な声を挙げる人、高笑いする人と色々でした。

懇親会は、席を移して「とりまん」で開催しました。久しぶりに逢って昔話に花が咲き、和気藹々の中、予定の２時間があっという間に過ぎてしまいました。来年の開催を確認し散会しました。

Ａクラス
１位　西村真人
２位　小林嗣憲
３位　清水　昇

Ｂクラス
笹木　隆
新部哲夫
武田　滋

（敬称略）

第22回直江津支部総会

一年ぶりに元気な顔が集まる！

総会は、１０月２７日、直江津駅前の「鳥まん」に於いて、来賓２名を含め２６名の参加で開催しました。

総会は泉副会長の司会で始まり、議長に小関信夫氏を選出し進められました。

武田支部会長の挨拶では、①昨年の「もみじ狩り」以降の行事が全て中止となった。コロナ禍の厳しい状況下であるが、総会を開催した。②菅内閣が誕生し何故か支持率が高い。特に携帯料金の値下げなど若者向けの政策を打ち出しているが、「安倍政権の継承」を明言しており、打倒していかなければならない。

③昨年釣り大会を実施、現在囲碁大会を計画している。レク・サークルの活発化を図ろう。④総選挙は梅谷氏の当選を目指し闘っていきたい　などの提起がなされました。

続いて、地本山崎会長より「地本総会を長岡で開催し成功裏に終了した」「地本役員の渡辺、清田両氏が亡くなった。お互い健康に注意し頑張りたい」「自民党の議員を一人でも多く減らしたい。６区は梅谷氏の当選に向け努力してほしい」「ＯＢ会が高齢化している。会員同士の助け合いについて進めよう」　などの挨拶がありました。

また、途中からの参加となった梅谷氏より、「野党統一候補の選出の現状と衆院選に向けた決意」が表明されました。

次に、役員側からの提起、２名の発言（コロナ禍であってもやるべきことや、言うべきことはしっかりいおう、憲法９条を守り、梅谷当選に向け頑張ろう、ボケ防止のためにもサークル活動に積極的に参加しよう）があり、新部事務長の答弁を経て方針が満場一致決定されました。

その後の懇親会では、約一年ぶりに酒を酌み交わしながら大いに盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。

新役員体制　（敬称略）

会　長	武田　滋	（ナホユク）
副会長	小山　英介	（ナホユク）
〃	泉　幸雄	（ナホ駅連）
事務長	新部　哲夫	（ナホユク）

決意を述べる梅谷氏

第20回長岡支部総会

１２月４日１４時から、幸いプラザ・講座室に於いて３９名の参加で開催しました。

中村副会長の司会で始まり議長に坂詰氏選出し進められました。最初に大久保会長の挨拶では、

第１に、ＯＢ会結成から２０回目の総会を迎えた。平和を主な課題としつつ、楽しいＯＢ会活動を展開してきた。

第２に、今は「ＪＲ東会社が赤字」や「東労組が分裂」し、心細い状況が続いている。

第３に、相互扶助の取組みが重要となっている。会員宅のハザードマップを更に充実していく。第４に、菅政権が誕生、「桜を見る会」問題や自身の疑惑に蓋をすべく臨時国会を閉幕する。総選挙では米山野党統一予定候補を応援する　が述べられました。

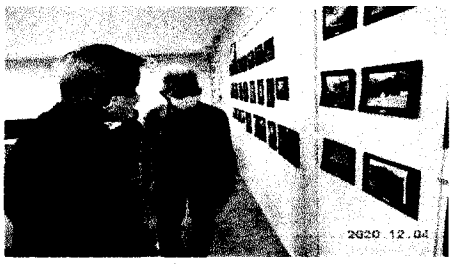
続いて、地本細谷副会長より、①地本総会が無事終了した、②安倍も悪かったが、菅政権は「学術会議」問題など、もっと悪い。衆院選挙では５区は米山氏を応援しよう、③会員同士の助け合いを無理せず、出来ることから始めよう。④新型コロナに感染しない、させない、そして楽しいＯＢ会活動を創ろう　との挨拶がありました。

その後、役員側より、経過や会計報告など、そして活動方針案、予算案が提起され、２名の質疑（越後湯沢支部ＯＢ会の現状と今後についてなど）があった後、満場一致決定されました。

新役員体制（敬称略）

会　長	大久保　直	（長岡駅）
副会長	伊藤　幸夫	（長岡ユク）
〃	石川　進一	（長岡ユク）
〃	中村　正樹	（長岡ユク）
事務長	田所　孝夫	（長岡ユク）

写真部　ミニギャラリー

鮮やか！　紅葉写真を展示！

写真部が総会会場にミニギャラリーを設け、紅葉で有名な越路町の「もみじ園」で撮影会を実施した自慢の力作を展示してくれました。昨年結成後、初めての展示会でしたが、総会参加者の目と心を癒してくれました。